

京都市の地球温暖化対策について



平成23年11月

京都市環境政策局
地球温暖化対策室

「生き続ける・京都」



「京都のまちの姿」

人口：約147万人
面積：827.9 k m²



平安京以来約1000年間，都としての歴史と文化を持つ歴史都市

年間5000万人を超える観光客が国内外から訪れる観光都市

イノベーションを生み出すものづくり都市，大学のまち

市域の4分の3が森林
山紫水明の自然豊かな都市

町衆など市民の強い自治意識
と地域コミュニティの絆

現代の京都が抱える課題

町並み・景観の破壊



歴史的建造物と
背後の中高層建築

森林の荒廃



京都を取り巻く山々の
ナラ枯れ

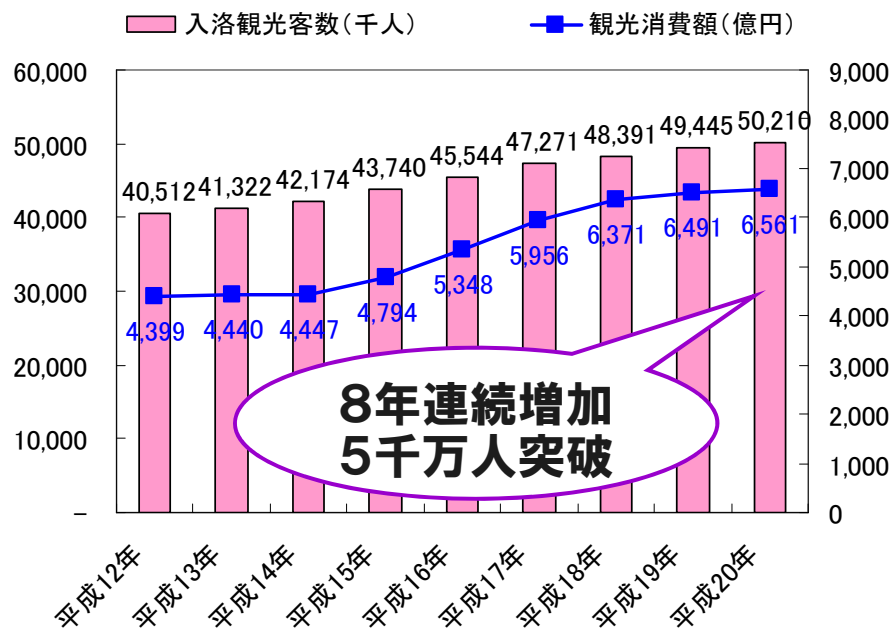
地球温暖化の影響か？



シカによる食害

現代の京都が抱える課題

観光と交通渋滞



8年連続増加
5千万人突破

京都市の入洛観光客数、観光消費額の推移

※京都市観光調査年報(2008年度)

観光客の京都に対する感想(2008年)

	ベスト2	ワースト2
1	風景	交通
2	名所旧跡	道路

しかし

観光客の
約**29%***が
乗用車で入洛

乗用車の流入による渋滞(嵐山)



京都駅でバスを待つ観光客の列



2010年10月 京都市地球温暖化対策条例の全部改正

1 目標の明示

- ① 前文に、温室効果ガス排出量を1990（平成2）年度比80%以上の削減により持続的な発展が可能となる低炭素社会を目指すという基本理念を掲げた。
- ② 条文に、**2020（H32）年度までに25%、2030（H42）年度までに40%という排出量削減目標を明記した。**

2 義務規程の設定

① 事業者排出量削減計画書制度

- 温室効果ガス排出量の多い事業者に、3年間の削減計画と排出実績及び取組状況を提出いただき、本市が評価し、その結果を公表。
- エコ通勤の取組状況の報告、環境マネジメントシステムの導入、新車購入時のエコカーの選択を義務化。

② 建築物排出量削減計画書制度

- 大規模な建築物を建築しようとする建築主に、建築物の環境配慮性能を評価する「CASBEE」の評価の結果などを添付した「削減計画書」を提出いただき、公表。評価結果の工事現場や販売広告への表示も義務化。
- 再生可能エネルギー設備の設置及び地域産木材の利用を義務化。

③ 緑化重点地区内の建築物に係る緑化等の義務

市内の市街地（都市緑地法に規定する緑化重点地区）に敷地面積の大きな建築物を建築しようとする建築主に対し、敷地内の緑化を義務化。

3 府市共同化

①歩くまち・低炭素都市づくりプロジェクト

「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進

目標 非自動車交通分担率 72%→80%超

「既存公共交通」の取組

既存の公共交通を再編強化し、
使いやすさを世界トップレベルに

快適、便利な
公共交通



まちの賑わいを
生み出す公共交通



「まちづくり」の取組

歩く魅力を最大限に味わせる
よう歩行者優先のまち

まちの主役を
クルマから人へ



「歩くまち・京都」の実現

「ライフスタイル」の取組

歩いて楽しい暮らしを大切にする
ライフスタイルに転換

①歩くまち・低炭素都市づくりプロジェクト

「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進

四条通の歩道拡幅と公共交通優先化



通年型パークアンドライドに向けた取組



電車・バスでまわる京都フリーパス

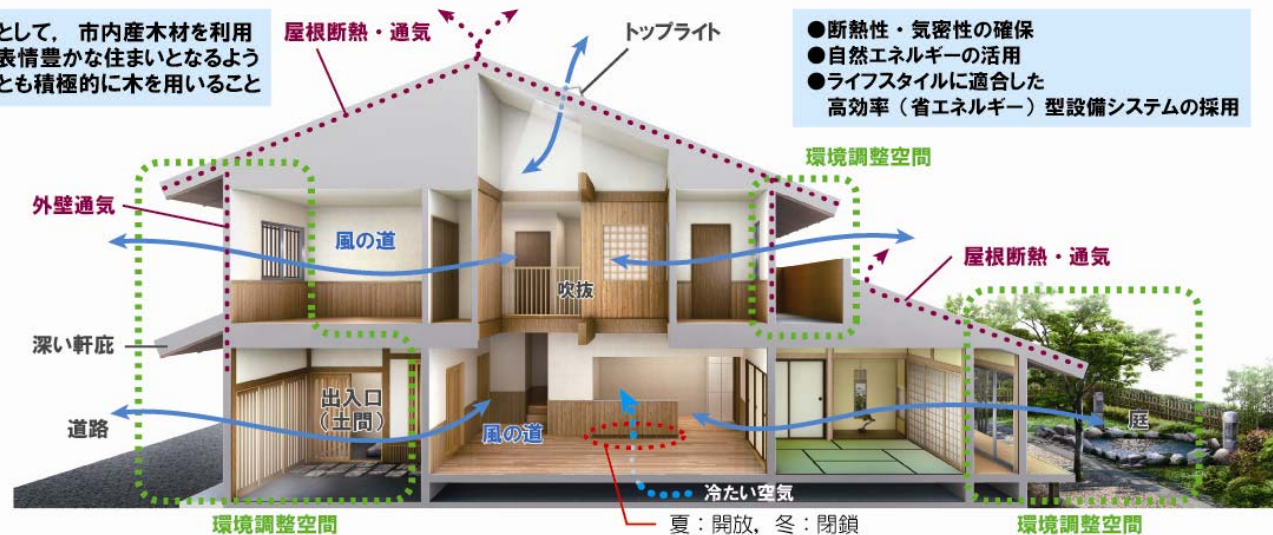


①歩くまち・低炭素都市づくりプロジェクト

森林の適切な保全と地域産木材の活用

「平成の京町家」の普及促進

- 原則として、市内産木材を利用
- 木の表情豊かな住まいとなるよう内外とも積極的に木を用いること



- 断熱性・気密性の確保
- 自然エネルギーの活用
- ライフスタイルに適合した高効率（省エネルギー）型設備システムの採用



森林整備と木材活用

木材利用



燃料利用

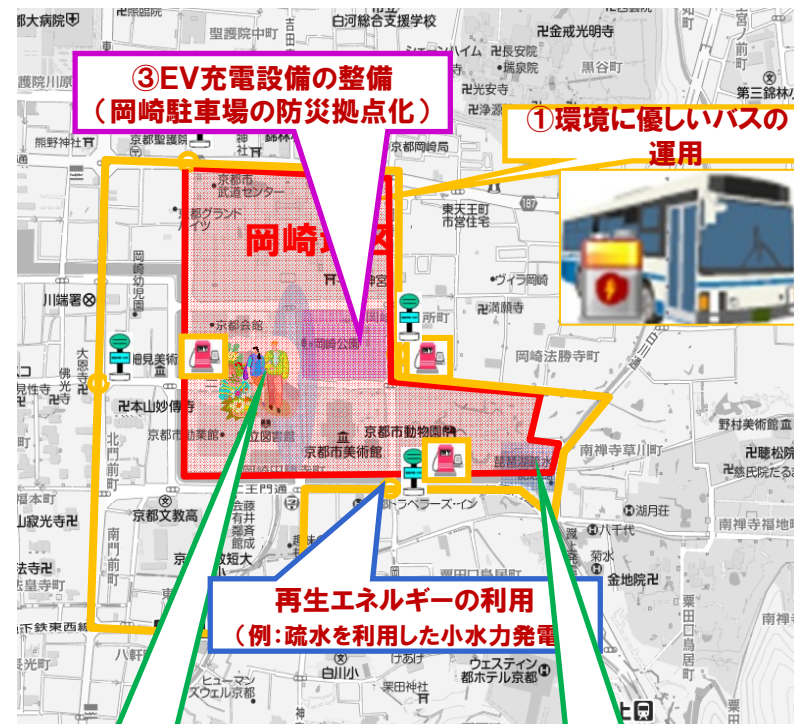
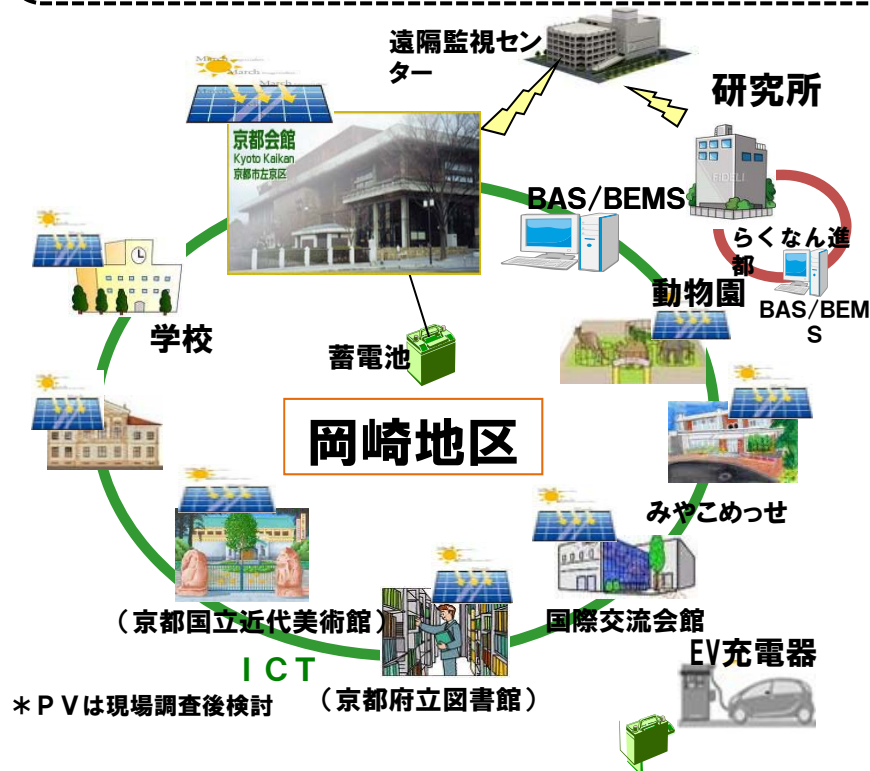


②グリーンエコノミー創出プロジェクト 京都型のスマートシティづくり

◎文化観光ゾーンに創エネ・省エネ技術を集中導入し、エネルギーマネジメントを実施

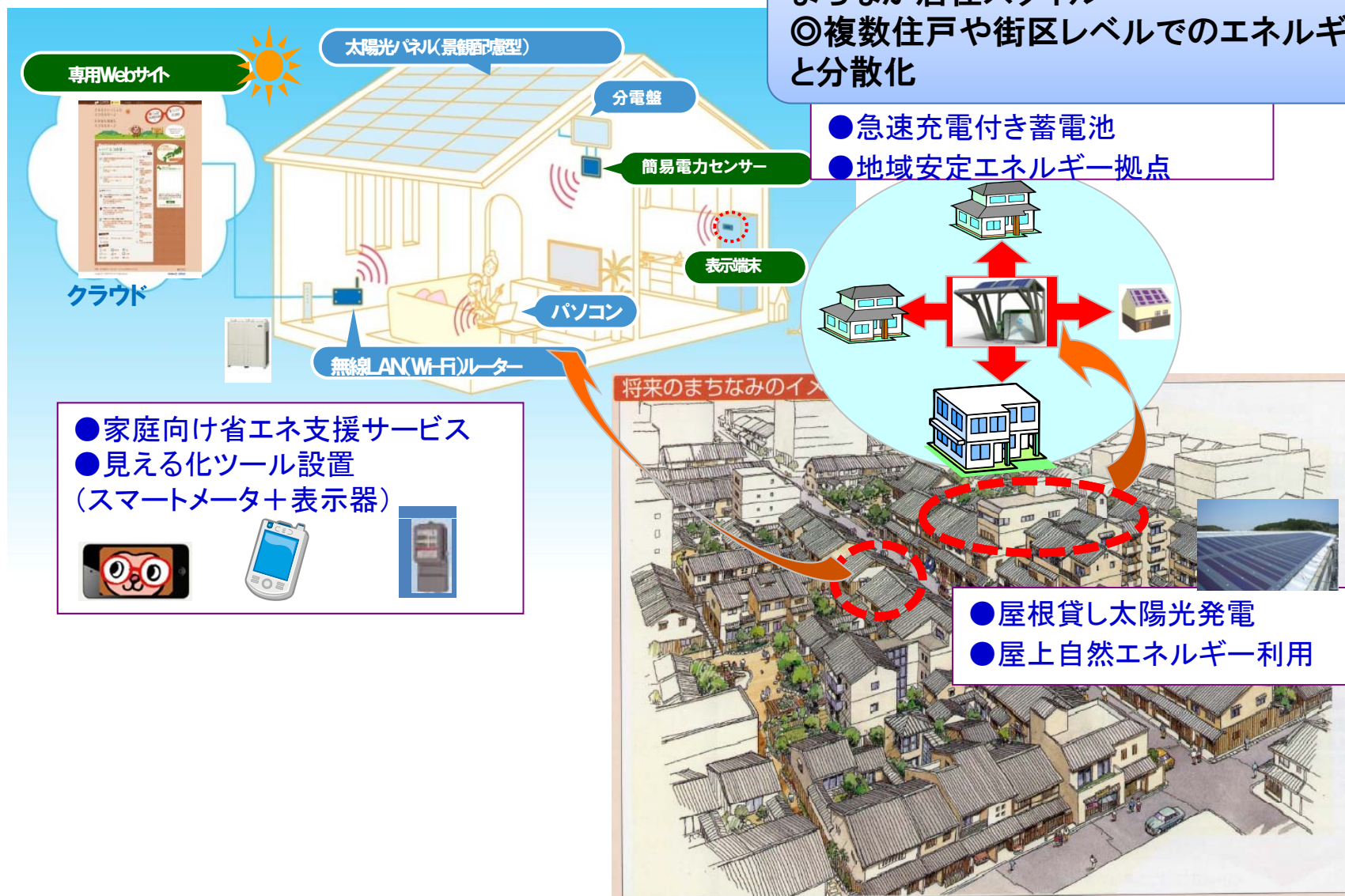
◎再エネによる自給自足を通じ、災害対応力を強化

- ☆エリア内のエネルギー自給と融通
- ☆化石燃料車の流入抑制, EVカーシェア, EVバス
- ☆歩行者中心のゼロエミッションストリート
- ☆グリーンZOO(京都市動物園) バイオガス化



②グリーンエコノミー創出プロジェクト 京都型のスマートシティづくり

◎環境・防災に配慮した、人にやさしい新たな
まちなか居住スタイル
◎複数住戸や街区レベルでのエネルギー創出
と分散化



②グリーンエコノミー創出プロジェクト 京都型のスマートシティづくり

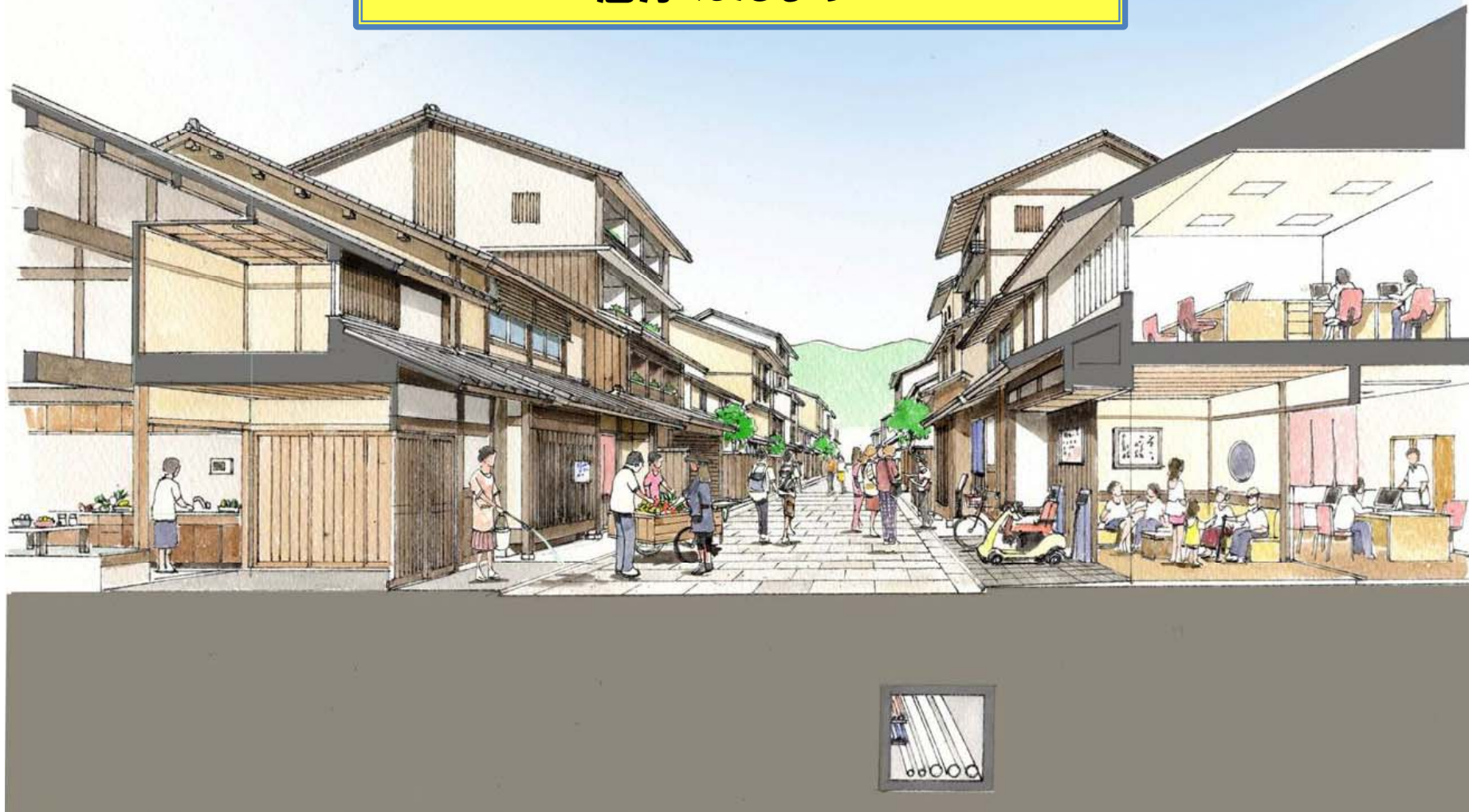
目指すべき未来の京都

「蓄積された歴史・文化」と「最先端技術」の融合



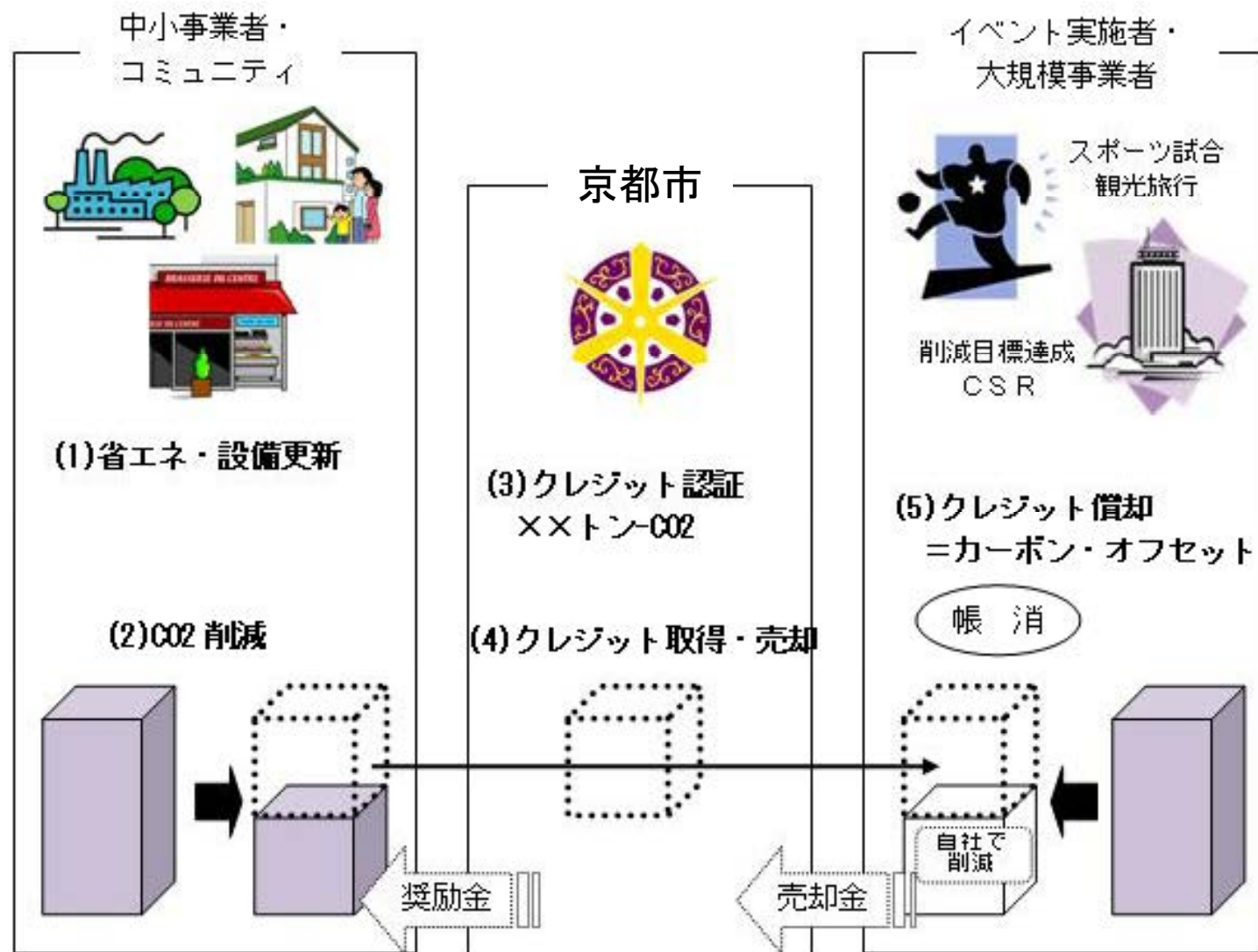
②グリーンエコノミー創出プロジェクト 京都型のスマートシティづくり

住み続けたい、訪れてみたい
魅力のあるまちへ



②グリーンエコノミー創出プロジェクト

DO YOU KYOTO?クレジット制度

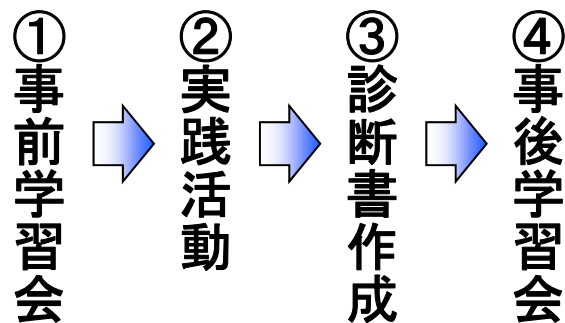


③エコライフコミュニティ創出プロジェクト

こどもエコライフチャレンジ推進事業



- こども達に地球温暖化問題に対する理解を深めてもらい、こどもの視点から各家庭のライフスタイルを見直す事業
- こども向けの環境家計簿を使って、家族そろってエコライフに取り組む。
(夏休み又は冬休みに実践)
- 進行補助役のボランティア募集



京都市立全小学校
で実施

2005年度：1校でスタート → 2009年度：101校 → 2010年度：177校

③エコライフコミュニティ創出プロジェクト



京都の朝は楽しい！

京朝スタイル



TREKKING

朝トレッキング部

秋の朝、適度な運動でリフレッシュ。京都の街を見下ろして気分も爽快に。



CHAT

おしゃべり朝食会

朝食をとりながらの交流会。ビジネスに限らず人脈や友達の輪を広げてみませんか。



COFFEE

京朝コーヒー学

コーヒーの基礎知識からハンドドリップまで。美味しい朝食とスイーツ付き！

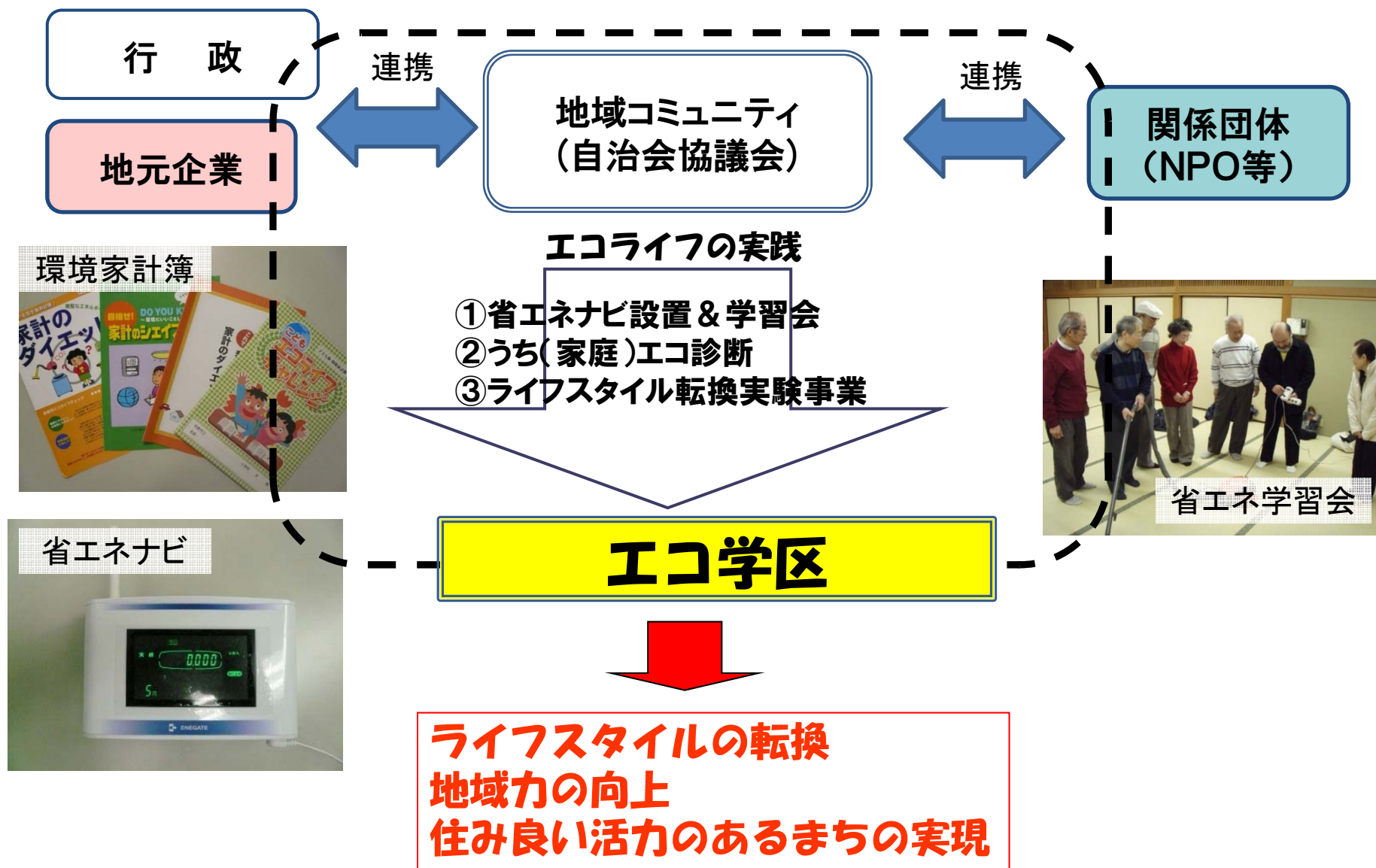


YOGA

オハヨガ部

ヨガで朝のエネルギーをたくさん感じた後は特製のグリーンスムージーでリラックス。

③エコライフコミュニティ創出プロジェクト 低炭素のモデル地区「エコ学区」推進事業



③エコライフコミュニティ創出プロジェクト

バイオディーゼル燃料化事業(1997年スタート)



市内約1580か所の収集場所に、
家庭から出る使用済みてんぷら油が集められる。

③エコライフコミュニティ創出プロジェクト

バイオディーゼル燃料の市バス, ごみ収集車への利用

年間141万LのBDFを使用し、約3,700tの二酸化炭素を削減



BDF製造プラント
(日量5,000L)

市バス(93台)
B20 (BDF:20%+軽油:80%)



ごみ収集車(約147台)
B100 (BDF:100%)

